

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(復水器水室出入口弁への地震時復水器の影響)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/3/7	NS2-補-015改01	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.37	復水器本体移動による接触影響評価について、センターサポートの鉛直方向の評価を説明すること。	2022/8/1	センタサポートを非拘束とした保守的な解析条件で、復水器本体の移動により復水器室出入口弁に影響を及ぼさないことを確認しました。	NS2-補-015改05「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.補-7.13-66,67	
2	2022/3/7	NS2-補-015改01	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.33	復水器本体移動による接触影響評価における基礎部耐震サポートの評価について、コンクリートのせん断及び曲げ評価の必要性を確認し説明すること。	2022/8/1	鉄筋コンクリート基礎の評価を実施し、評価結果を記載しました。	NS2-補-015改05「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.補-7.13-52	
3	2022/3/7	NS2-補-015改01	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.48	水室の鉛直方向の揺れによって弁と配管が接触しないか確認して説明すること。	2022/8/1	復水器水室出入口弁への接続フランジ(配管)の鉛直方向移動について、浮上りは弁体から離れる方向であり、沈み込む方向が厳しい評価となります。よって、フランジの沈み込み量を考慮し、許容変位量を170mmとしました。フランジの変位量は、許容変位量未満であることを確認し、当該弁と配管は接触しないことを確認しました。また、復水器胴(前後板リブ)の変位量についても同様に、当該弁と復水器胴は接触しないことを確認しました。	NS2-補-015改05「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.補-7.13-61,62	
4	2022/3/7	NS2-補-015改01	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.54	時刻歴応答解析について、解析モデルの説明を充実させ、解析の分割数及び要素の種類についても説明すること。	2022/8/1	解析モデルの節点数、要素数等追記し、解析モデルの説明を充実しました。	NS2-補-015改05「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.補-7.13-69,70	
5	2022/3/7	NS2-補-015改01	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.55	時刻歴応答解析について、細管軸方向(NS方向)の固有周期に対して応答加速度の大きい地震動を選定しているが、細管軸方向(EW方向)の固有周期に対して応答加速度の大きい地震動を選定していない理由を説明すること。	2022/8/1	細管軸方向(EW方向)についても固有周期に対して応答が卓越する地震動を選定し、評価を実施しました。評価の結果、NS方向同様に復水器の損傷が復水器室出入口弁に影響を及ぼさないことを確認しました。細管軸方向(NS方向)及び、細管軸方向(EW方向)に卓越する2ケースの地震動による時刻歴応答解析を実施し、補足説明資料には、評価が厳しくなるケースの算出結果を記載しています。	NS2-補-015改05「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.補-7.13-10,67	
6	2022/3/7	NS2-補-015改01	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.57	時刻歴応答解析にかかる固有値解析結果について、卓越する振動モードとして、10次モード及び59次モードを選定した理由を、有効質量の考慮も踏まえた上で説明すること。	2022/8/1	復水器の代表的なモードの有効質量比を含む固有値をまとめた表を追記しました。有効質量比とモード図から、卓越する振動モードを選定しています。	NS2-補-015改05「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.補-7.13-80~83	
7	2022/3/7	NS2-補-015改01	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.67	時刻歴応答解析に係る水室に作用する荷重の算出において実施している3方向同時入力による解析について、荷重及び変位量の組み合わせ手法及び解析結果を説明すること。	2022/8/1	当該解析では、3次元FEMモデルを用い、基準地震動Ssの3方向入力による時刻歴応答解析を実施しており、荷重及び変位量の組み合わせ法としては、各方向の入力による応答を各時刻で代数和していることを追記しました。	NS2-補-015改05「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.補-7.13-10	
8	2022/3/7	NS2-補-015改01	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.68	時刻歴応答解析について、復水器基礎に発生する荷重の向きを踏まえ、コーナーサポートにおける浮き上がり量を説明すること。	2022/8/1	コーナーサポートの浮上り変位を追記しました。	NS2-補-015改05「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.補-7.13-86	
9	2022/3/7	NS2-補-015改01	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.68	時刻歴応答解析における復水器水室フランジの変位量の算出について、地震動の入力方向と各方向の発生変位量を踏まえ、算出方法の詳細を説明すること。	2022/8/1	復水器水室フランジ及び復水器前後リブの変位量算出方法の詳細を追記しました。	NS2-補-015改05「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.補-7.13-85	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
10	2022/8/1	NS2-補-015改 05	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)＜「復水器水室出入口弁への地震時復水器の影響」＞	P.54.55	サポート番号①～④(コーナサポート)について、鉛直方向荷重が生じる理由及び値が異なる理由を確認して説明すること。	今回回答	図7.12-26図に記載の地震時機器荷重について、説明を追記し記載を充実しました。 また、①～④で上向き荷重が発生している理由としては、復水器の下向き荷重によるコーナサポートへの圧縮荷重が、復水器が浮上った後に除荷され、コンクリート基礎剛性の反発によりソールプレートに上向きに荷重が発生したことによるものです。	NS2-補-015改06「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.補-7.12-54	
11	2022/8/1	NS2-補-015改 05	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)＜「復水器水室出入口弁への地震時復水器の影響」＞	P.61	7.12-28図について、弁体とフランジ内面の最小間隙(170mm)の考え方を追記して説明すること。	今回回答	A-A断面の指示位置を水室フランジ位置となるように修正し、A-A断面における弁体とフランジ内面の最小間隙であることが分かるように修正しました。	NS2-補-015改06「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.補-7.12-62	
12	2022/8/1	NS2-補-015改 05	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)＜「復水器水室出入口弁への地震時復水器の影響」＞	P.10.34	3方向同時入力である旨の記載を適正化して説明すること。荷重を代数和している旨は記載を適正化して説明すること。	今回回答	3方向同時入力及び、代数和している旨の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・基準地震動Ssの3方向入力による・・・を代数和にて算出する。 (新)・・・基準地震動Ssの水平2方向及び鉛直方向の3方向同時入力による・・・を算出する。	NS2-補-015改06「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.補-7.12-10.34	
13	2022/8/1	NS2-補-015改 05	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)＜「復水器水室出入口弁への地震時復水器の影響」＞	P.10.34	「(2)設計用地震力」について、設計用地震力の情報を追記して説明すること。	今回回答	評価に用いる設計用地震力の詳細として、以下の記載を追記しました。 設計用地震力としては、VI-2-2-7「タービン建物の地震応答計算書」に基づき設定した、復水器基礎台高さ(EL.1.800m)近傍のEL.2.000mにおける基準地震動 Ss の加速度応答時刻歴を適用した。	NS2-補-015改06「工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)」P.補-7.12-10.34	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(復水器水室出入口弁への地震時復水器の影響)

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
No.1～56については、NS2-他-168で整理済みのため省略。						
57	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.目-2, 中表紙他	目次構成の変更に伴い、項番号を修正しました。(下線部参照) (旧)7.13 循環水系隔離システムの内、… (新)7.12 循環水系隔離システムの内、… この修正に伴い、当該補足説明資料中の図表のタイトル番号についても同様に変更しました。	2022/9/16	
58	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-目-1	A. 3. (3)項のタイトルに「復水器」を追記して適正化しました。(下線部参照) (旧)(3)地震力が鉛直方向に作用した場合 (新)(3)地震力が復水器鉛直方向に作用した場合	2022/9/16	
59	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-目-1	B. 3. (2)～(7)項のタイトルに「復水器」を追記して適正化しました。(下線部参照) (旧)(2)地震力が細管軸方向に… (3)地震力が細管軸方向に… (4)地震力が鉛直方向に… (5)地震力が細管軸方向に… (6)地震力が細管軸方向に… (7)地震力が鉛直方向に… (新)(2)地震力が復水器細管軸方向に… (3)地震力が復水器細管軸方向に… (4)地震力が復水器鉛直方向に… (5)地震力が復水器細管軸方向に… (6)地震力が復水器細管軸方向に… (7)地震力が復水器鉛直方向に…	2022/9/16	
60	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-目-2	B. 4. (1)項のタイトルをサポートの拘束条件についての記載適正化の観点で修正しました。(下線部参照) (旧)鉛直方向受け側を拘束する基礎台配置 (新)鉛直下向き荷重を受ける基礎台配置	2022/9/16	
61	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-目-2	B. 5. 項及びB. 8. (4)項のタイトルを適正化しました。(下線部参照) (旧)基礎コンクリートの評価 (新)鉄筋コンクリート基礎の評価	2022/9/16	
62	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-1	1. 項の8行目において、誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)…、復水器の損傷による当該弁への波及的影響を… (新)…、復水器の損傷による当該弁への影響を…	2022/9/16	
63	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-2他	第7.12-1表の構造概略図について、マスキング適正化の観点から、後掲の同内容の図にあわせて、マスキング無しとしました。	2022/9/16	
64	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-2	第7.12-1表(1/3)の構造概略図に対して、復水器の概略寸法を追記しました。	2022/9/16	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
65	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-5	評価の全体像が分かるように、評価フローを追加しました。	2022/9/16	
66	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-6	第7.12-1図に記載の強度評価対象として、後水室下部サポートを追記しました。	2022/9/16	
67	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-7	A. 1. (2)項に以下の適用規格・基準を追記しました。 ・鉄筋コンクリート構造計算基準・同解説 ―許容応力度設計法―((社)日本建築学会, 1999改定)	2022/9/16	
68	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-8	第7.12-4図と第7.12-5図及び第7.12-7図の対応関係が分かるように、第7.12-4図のA-A断面に「(5図)」を追記及び、新たに「(7図)B」矢視を追記しました。	2022/9/16	
69	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-9	第7.12-7図に、対応関係が分かるように、第7.12-4図のB矢視を示す図であることを追記しました。また、部材の矢示の記載を、復水器側であることが分かるように追記、適正化しました。	2022/9/16	
70	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-10他	A. 2. (2)項の8行目において、非線形時刻歴解析をしていることが分かるように記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・による時刻歴応答解析を実施し、・・・ (新)・・・による非線形時刻歴応答解析を実施し、・・・	2022/9/16	
71	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-11	第7.12-2表の後水室耐震サポートボルト応力において、せん断を評価しない理由を注記として追記しました。	2022/9/16	
72	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-12他	第7.12-4表の発生荷重について、マスキング適正化の観点から、マスキング無しとしました。また、後掲の計算式での同発生荷重についてもマスキング無しとしました。	2022/9/16	
73	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-14	後水室耐震サポートボルトに作用する荷重について記載を充実しました。(下線部参照) (旧)よって、2本で水平力F1aを受け持つから、ボルトの引張応力 σ 3は、 (新)水平力F1aは2本のボルトの引張方向に作用することから、ボルトの引張応力 σ 3は、	2022/9/16	
74	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-21	A. 3. (3)項のタイトルに「復水器」を追記して適正化しました。(下線部参照) (旧)(3)地震力が鉛直方向に作用した場合 (新)(3)地震力が復水器鉛直方向に作用した場合	2022/9/16	
75	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-30	B. 1. (1)項の1行目～2行目について、サポートの拘束条件についての記載適正化の観点で修正しました。(下線部参照) (旧)復水器底板には、復水器細管軸方向及び細管軸直方向をそれぞれ拘束するキーサポートを設置し、キーサポートは復水器下部中央部のコンクリート基礎により固定する構造としている。 (新)復水器底板及び復水器下部中央部のコンクリート基礎には、復水器細管軸方向及び細管軸直方向をそれぞれ拘束するキーサポートを設置し、キーサポートは鉛直下向き荷重を受ける構造としている。	2022/9/16	
76	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-30	B. 1. (1)項の3行目～4行目について、サポートの拘束条件についての記載適正化の観点で修正しました。(下線部参照) (旧)また、復水器の四隅に設置されたコンクリート基礎により、鉛直方向受側を拘束する構造と・・・ (新)また、復水器の四隅に設置されたコンクリート基礎は、鉛直下向き荷重を受ける構造と・・・	2022/9/16	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
77	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-30	B. 1. (1)項の6行目の「及び」、「並びに」の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・が許容応力を超えないこと及び復水器水室フランジ並びに復水器前後板リブの変位量が許容変位量を超えないこと・・・ (新)・・・が許容応力を超えないこと、 <u>並びに</u> 復水器水室フランジ及び復水器前後板リブの変位量が許容変位量を超えないこと・・・	2022/9/16	
78	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-31	B. 2. (1)項に、復水器水室出入口弁への影響評価の観点から、細管軸方向の地震荷重を受けるキーサポートを評価対象としていることを追記しました。	2022/9/16	
79	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-31	第7.12-15図に、復水器水室出入口弁を追加しました。	2022/9/16	
80	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-33	第7.12-19図について、復水器前後板リブの矢示を追記しました。	2022/9/16	
81	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-34	第7.12-20図の復水器出入口弁について、弁各部の名称(復水器水室出入口弁駆動部、復水器水室出入口弁軸受)を追記しました。	2022/9/16	
82	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-37他	第7.12-9表の発生荷重について、マスキング適正化の観点から、マスキング無しとしました。また、後掲の計算式中の同発生荷重についてもマスキング無しとしました。	2022/9/16	
83	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-42	B. 3. (4)項のタイトルに「復水器」を追記して適正化しました。(下線部参照) (旧)地震力が鉛直方向に作用したキーサポート⑦⑧の応力 (新)地震力が復水器鉛直方向に作用したキーサポート⑦⑧の応力	2022/9/16	
84	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-44	B. 3. (5)項のタイトルに「復水器」を追記して適正化しました。(下線部参照) (旧)地震力が細管軸方向に作用したキーサポート⑩⑪の応力 (新)地震力が復水器細管軸方向に作用したキーサポート⑩⑪の応力	2022/9/16	
85	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-46	B. 3. (6)項のタイトルに「復水器」を追記して適正化しました。(下線部参照) (旧)地震力が細管軸直方向に作用したキーサポート⑩⑪の応力 (新)地震力が復水器細管軸直方向に作用したキーサポート⑩⑪の応力	2022/9/16	
86	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-47	B. 3. (7)項のタイトルに「復水器」を追記して適正化しました。(下線部参照) (旧)地震力が鉛直方向に作用したキーサポート⑩⑪の応力 (新)地震力が復水器鉛直方向に作用したキーサポート⑩⑪の応力	2022/9/16	
87	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-48	(8)項について、各応力の対象サポートが分かるように、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・を考慮した各応力は・・・ (新)・・・を考慮した <u>キーサポート⑦⑧</u> の各応力は・・・	2022/9/16	
88	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-49	1行目について、各応力の対象サポートが分かるように、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・を考慮した各応力は・・・ (新)・・・を考慮した <u>キーサポート⑩⑪</u> の各応力は・・・	2022/9/16	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
89	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-50	B. 4. (1)項のタイトルを, サポートの拘束条件についての記載適正化の観点で修正しました。(下線部参照) (旧)鉛直方向受側を拘束する基礎台配置 (新)鉛直下向き荷重を受ける基礎台配置	2022/9/16	
90	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-50	B. 4. (1)項の1行目, 2行目について, サポートの拘束条件についての記載適正化の観点で修正しました。(下線部参照) (旧)復水器の鉛直方向受側を拘束する基礎台は, …の基礎台で拘束している。 (新)復水器の鉛直下向き荷重を受ける基礎台は, …の基礎台で下向き荷重を受ける。	2022/9/16	
91	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-50	第7.12-23図のタイトルを, サポートの拘束条件についての記載適正化の観点で修正しました。(下線部参照) (旧)鉛直方向を拘束する復水器基礎台配置図(平面図) (新)鉛直下向き荷重を受ける復水器基礎台配置図(平面図)	2022/9/16	
92	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-50	第7.12-24図のタイトルを, サポートの拘束条件についての記載適正化の観点で修正しました。(下線部参照) (旧)鉛直方向受側のみ拘束する構造の基礎台の概略断面図 (新)鉛直下向き荷重を受ける基礎台の概略断面図	2022/9/16	
93	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-51	第7.12-10表の発生荷重について, マスキング適正化の観点から, マスキング無しとしました。また, 後掲の計算式中の同発生荷重についてもマスキング無しとしました。	2022/9/16	
94	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-52	B. 5. 項タイトルを適正化しました。(下線部参照) (旧)基礎コンクリートの評価 (新)鉄筋コンクリート基礎の評価	2022/9/16	
95	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-52~61	B. 5. 項について, マスキング適正化の観点から, マスキング無しとしました。	2022/9/16	
96	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-54	第7.12-26図について, 方向は地震荷重の方向ではなく, 解析結果である地震時機器荷重が作用する方向を示すものであることが分かるように, 記載を充実しました。(下線部参照) (旧)また, 復水器よりサポートを介して鉄筋コンクリート基礎に伝わる地震時機器荷重を第7.12-26図に示す。 (新)また, 復水器よりサポートを介して鉄筋コンクリート基礎に伝わる各方向の地震時機器荷重の最大値を第7.12-26図に示す。	2022/9/16	
97	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-59	(2)項のコンクリート評価について, 荷重の組合せ方法の考え方を追記しました。(下線部参照) (旧)…を参考に, 組合せ係数法(組合せ係数は1.0と0.4)を用いるものとする。 (新)…を参考に, 鉄筋コンクリート基礎の慣性力による地震荷重に組合せ係数法(組合せ係数は1.0と0.4)を用いるものとする。なお, 地震時機器荷重は復水器3次元FEMモデルによる3方向時刻歴解析結果である第7.12-26図の値を組み合わせる。	2022/9/16	
98	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-61	第7.12-16表について, 配筋の状況が分かる図を追加しました。	2022/9/16	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
99	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-62	第7.12-28図において、断面A-Aの指示位置を適正化しました。また、復水器前後板リブの矢示を追記し、図中の記載内容を修正しました。 (旧)・・・A面, A面矢視 (新)・・・A-A断面	2022/9/16	
100	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-63	第7.12-29図の復水器出入口弁について、弁各部の名称(復水器水室出入口弁駆動部, 復水器水室出入口弁軸受)を追記しました。	2022/9/16	
101	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-65	B. 8. (3)項の1行目において、サポートの拘束条件についての記載適正化の観点で修正しました。(下線部参照) (旧)復水器鉛直方向を拘束する基礎(No.①～④コーナサポート)の・・・ (新)復水器鉛直下向き荷重を受ける基礎(No.①～④コーナサポート)の・・・	2022/9/16	
102	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-66	B. 8. (4)タイトルを適正化しました。(下線部参照) (旧)基礎コンクリートの評価 (新)鉄筋コンクリート基礎の評価	2022/9/16	
103	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-68	C. 1. 項の2行目において、非線形時刻歴解析をしていることが分かるように記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・による時刻歴応答解析を実施し、・・・ (新)・・・による非線形時刻歴応答解析を実施し、・・・	2022/9/16	
104	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-68	C. 1. (1)項の6行目において、かぎ括弧(「)の位置を適正化しました。(下線部参照) (旧)設計用地震力としては、「VI-2-2-7タービン建物の地震応答計算書」に基づき・・・ (新)設計用地震力としては、「VI-2-2-7タービン建物の地震応答計算書」に基づき・・・	2022/9/16	
105	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-68	C. 1. (1)項の9行目において、解析モデル、地震動入力方法、非線形時刻歴応答解析である旨の記載を追記しました。	2022/9/16	
106	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-68	C. 1. (2)項の3行目において、選定した評価用地震動を第7.12-24表として示す旨を追記しました。	2022/9/16	
107	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-68	C. 1. (2)項の8行目、14行目において、時間刻みの係数についての記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・が復水器の卓越固有周期に合うように地震動の時間刻みを・・・ (新)・・・が復水器の卓越固有周期に合うように各方向の地震動の時間刻みを・・・	2022/9/16	
108	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-68, 69	C. 1. (2)項の16行目から、地震動選定の考え方について、±10%シフトの解析を実施しない理由を追記しました。	2022/9/16	
109	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-71	第7.12-23表の境界条件のキーサポートの項目において、サポートの拘束条件についての記載適正化の観点で修正しました。(下線部参照) (旧)鉛直方向受け側の並進固定 キー軸直方向の並進固定 (新)鉛直方向下向きを並進固定 キー軸直方向下向きを並進固定	2022/9/16	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
110	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-71	第7.12-23表の境界条件のコーナサポートの項目において、サポートの拘束条件についての記載適正化の観点で修正しました。(下線部参照) (旧)鉛直方向受け側の並進固定 (新)鉛直方向下向きを並進固定	2022/9/16	
111	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-71	第7.12-23表の摩擦条件の項目において、摩擦係数の設定根拠を注記として追記しました。	2022/9/16	
112	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-71	第7.12-23表の減衰定数の項目において、水平方向及び鉛直方向ともに減衰定数1%を用いていることを追記し、減衰定数についての記載を充実しました。	2022/9/16	
113	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-74他	選定した評価用地震動をまとめた表として、第7.12-24表を追記しました。併せて、以降に記載の表番号を修正しました。	2022/9/16	
114	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-84, 85,86	第7.12-33,34,35図において、変形量の凡例を追記しました。	2022/9/16	
115	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-87, 88	第7.12-27表, 第7.12-28表, 第7.12-29表の発生荷重について、マスキング適正化の観点から、マスキング無しとしました。	2022/9/16	
116	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-87, 88	C. 3. ~7. 項の1~2行目において、3方向同時入力及び代数和している旨の記載を適正化しました。また、非線形時刻歴応答解析を実施していることが分かるように記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・基準地震動Ssの3方向入力による時刻歴応答解析を実施し、・・・を代数和にて算出した。 (新)・・・基準地震動Ssの水平2方向及び鉛直方向の3方向同時入力による非線形時刻歴応答解析を実施し、・・・を算出した。	2022/9/16	
117	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-88	C. 5. 項の2行目について、サポートの拘束条件についての記載適正化の観点で修正しました。(下線部参照) (旧)・・・を実施し、鉛直方向受側を拘束の復水器基礎に発生する・・・ (新)・・・を実施し、鉛直下向き荷重を受ける復水器基礎に発生する・・・	2022/9/16	
118	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-88	C. 6. 項における変位の算出方法について、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・復水器水室フランジの変位量を算出した。算出した変位量を・・・ (新)・・・復水器水室フランジの最大変位量をベクトル和にて算出した。算出した最大変位量を・・・	2022/9/16	
119	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-88	C. 7. 項における変位の算出方法について、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・復水器前後板リブの変位量を算出した。算出した変位量を・・・ (新)・・・復水器前後板リブの最大変位量をベクトル和にて算出した。算出した最大変位量を・・・	2022/9/16	
120	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-88	第7.12-30表, 第12-31表のタイトルについて、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)・・・の変位量 (新)・・・の最大変位量	2022/9/16	
121	NS2-補-015改06	工事計画に係る補足説明資料(発電用原子炉施設の溢水防護に関する説明書)	P.補-7.12-89	C. 8. 項において、コーナサポート部の浮上り量を評価に適用していない旨を追記しました。	2022/9/16	